

伝統と格式の挙式・披露宴

うつくしの杜 参集殿

富山県内でもっとも
伝統と格式ある結婚式
場として県下に知られ、
結びのお社としても信
仰を集める。

披露宴会場は、随所
に富山県下の伝統工芸
の技術が活かされる。
「いみづ茶寮」も併設。



射水神社

越中総鎮守一宮

参拝のしおり



二上山を仰ぐ越中の総鎮守

射水神社

射水神社は、悠久の昔、二上神を奉斎して二上山麓に創建され、『延喜式』越中三十四座中で唯一の名神大社として、その御神威は広く朝野に知れわたり、越中国総鎮守の大守護神として崇敬されてきました。

奈良朝、勅命により越中全土の各戸より初穂米奉納の制度が設けられ、また、国司の補任にあたっては国家安穩、五穀豊穰を祈願する越中国一宮としてその隆盛を極めました。

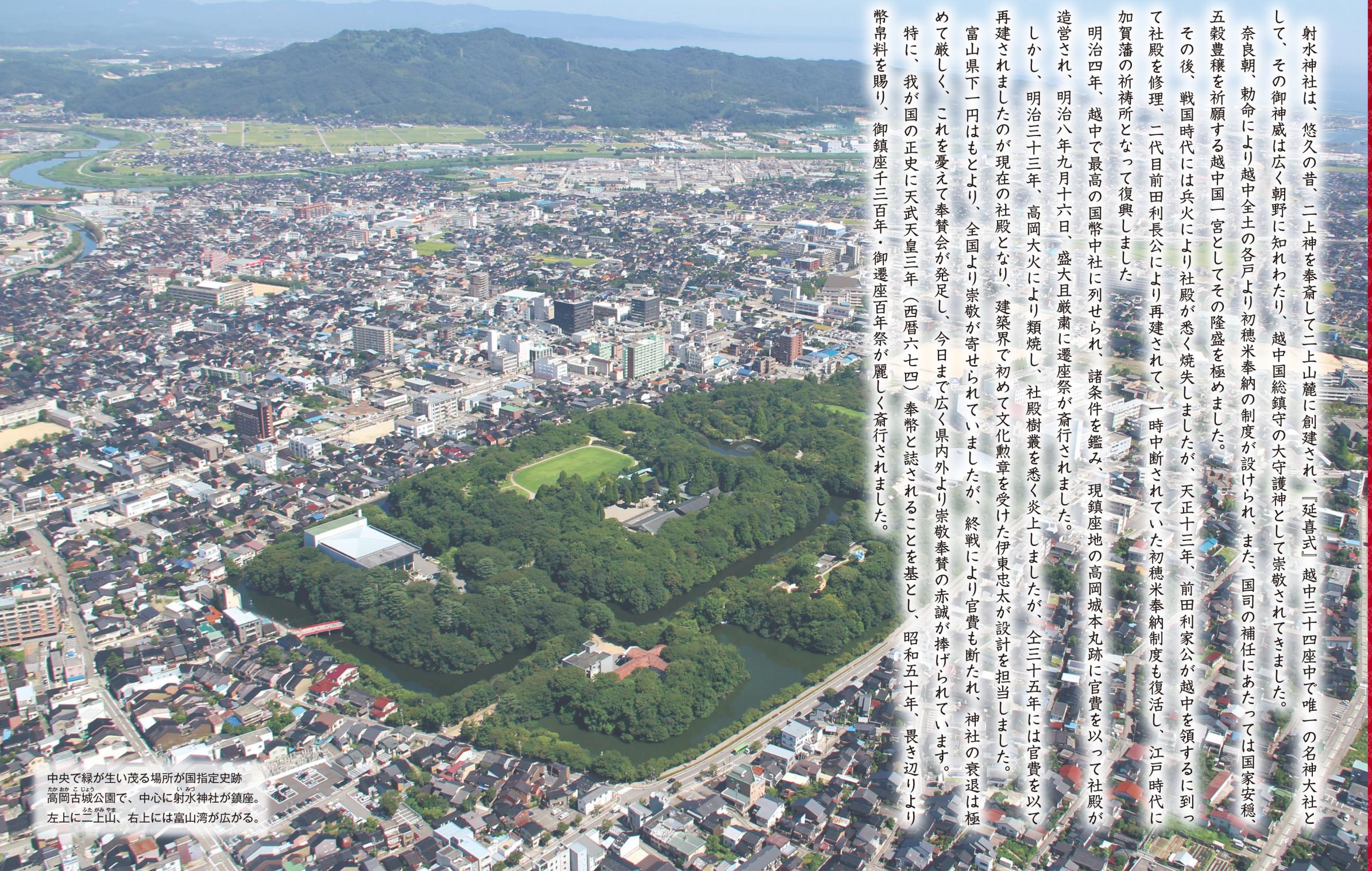
その後、戦国時代には兵火により社殿が悉く焼失ましたが、天正十三年、前田利家公が越中を領するに到つて社殿を修理、二代目前田利長公により再建されて、一時中断されていた初穂米奉納制度も復活し、江戸時代に加賀藩の祈祷所となつて復興しました。

明治四年、越中で最高の国幣中社に列せられ、諸条件を鑑み、現鎮座地の高岡城本丸跡に官費を以つて社殿が造営され、明治八年九月十六日、盛大且厳肅に遷座祭が斎行されました。

しかし、明治三十三年、高岡大火により類焼し、社殿樹叢を悉く炎上しましたが、全三十五年には官費を以て再建されましたのが現在の社殿となり、建築界で初めて文化勲章を受けた伊東忠太が設計を担当しました。

富山県下一円はもとより、全国より崇敬が寄せられていましたが、終戦により官費も断たれ、神社の衰退は極めて厳しく、これを憂えて奉贊会が発足し、今日まで広く県内外より崇敬奉贊の赤誠が捧げられています。

特に、我が国の正史に天武天皇三年（西暦六七四）奉幣と誌されることを基とし、昭和五十年、畏き辺りより幣帛料を賜り、御鎮座千三百年・御遷座百年祭が麗しく斎行されました。



中央で緑が生い茂る場所が国指定史跡

高岡古城公園で、中心に射水神社が鎮座。

左上に二上山、右上には富山湾が広がる。

御神縁を結ぶ — 崇敬奉賛会入会のご案内 —

郷土の守護の大神として、また崇敬者の「心のよりどころ」と親しまれ、さらなる御神徳の宣揚につとめ、神社活動に奉賛することを旨に、これまで 「射水神社式年大祭」を十年毎に斎行し、拝殿、參集殿等の増改築、境内整備等が執り行われ、現在の社頭となりました。

現在、県内はもとより、全国から、三五〇を超える法人・個人の方々が会員となられております。特に、このたび御神縁をお結びする『射水神社崇敬奉賛会』として、法人・個人の各会員を、新たに広く県内外より募らせていただくこととなりました。

つきましては、本会の活動趣意にご理解を頂き、御神恩に報い、さらなる御神威の発揚のため、ぜひとも、この機会にご入会下さいますよう、ご案内申し上げます。

御家族、御一統様の弥栄を心よりお祈り申し上げます。

◆待 遇

- 会員の芳名を簿冊に録して御本殿内に納め置きますとともに、社殿内翼廊木札に掲額致します。
- 入会時に「社紋入木製会員証」を授与致します。
- 毎年、年末に、射水神社「御神符」、「特別えと絵馬」(会員の方のみ限定授与品)を授与、お送り致します。
- 每月の朔日祭(一日)・月次祭(二十三日)斎行の際、会員各位の生業繁栄・家内安全を祈願致します。
- 四大祭(例祭、秋季大祭、祈年祭、新嘗祭)、新年の「生業繁栄・家内安全大祈願祭」には昇殿参拝のご案内を差し上げます。
- 六月の夏越大祓・年末の師走大祓等のご案内を差し上げます。
- 社報「射水」(年二回発行)をお届け致します。(入会時には芳名を録します。)
- 研修会・講習会等の本会主催、後援等の諸催事に優先的にご案内致します。

◆会員種類／年会費

(年額・一口より随意)

- 法人会員 五、〇〇〇円以上
- 個人会員 三、〇〇〇円以上



桜花紅葉

—鎮守の社—

四季の祭りと花ごよみ—

新旧の祭りを織り交ぜ、年間60余の祭典を斎行

射水神社では、四季折々に祭りが執り行われている。

春祭は4月23日、秋祭は遷座当日の9月16日に斎行。

なかでも最重儀である例祭の春祭には、旧社地である二上

射水神社で古くから伝わる「築山行事」が行われる。

左義長 射水の火祭り

1月14日の18時から斎行。古いお札やお守り、神棚、注連縄、書き初めなどを境内に積み上げ、神聖な火鑓による淨火で焚き上げる。この火にあたると1年間、無病息災で過ごせるとの信仰がある。

新春



秋



新嘗祭

今年の豊かな稔りとさまざまな産業の振興発展に感謝するお祭りで、11月23日に斎行。県下一円よりの特産物を「進納品」（新米・酒・魚・海菜・野菜・果物・生花・工業製品など）としてお供えされます。

春

四月 例祭



東日本大震災を契機に日本の復興を祈り、家族の絆を確かめ、新たな気持ちでお正月を迎えてもらうため、平成23年（2011）より新たに斎行されている神事。

地元の高岡青果市場より奉納の柚子やかぼちゃを、雅楽の大曲「蘭陵王」の奏楽のもと献備する。参列者には柚子とともに柚子茶がふるまわれる。



十二月 冬至祭

とうじさい

冬至祭

東日本大震災を契機に日本の復興を祈り、家族の絆を確かめ、新たな気持ちでお正月を迎えてもらうため、平成23年（2011）より新たに斎行されている神事。

地元の高岡青果市場より奉納の柚子やかぼちゃを、雅楽の大曲「蘭陵王」の奏楽のもと献備する。参列者には柚子とともに柚子茶がふるまわれる。

六月

夏越の大祓・ 人形感謝清祓式

毎年6月30日に行われる夏越の大祓は、大きな茅の輪をぐるり半年間の罪穢れを祓い清める行事。
また、役目を終えたひな人形や五月人形、ぬいぐるみ、富山ならではの「天神様」などを祓い清めて感謝する「人形感謝清祓式」も併せて斎行される。



夏



すずはらえさい 煤拂祭

近年発見された「射水神社祭日表」に則り、平成26年（2014）に再興された祭事。ご祭神と崇敬者がともに清々しく新年を迎えるよう、宮司はじめ神職・巫女が忌竹を持ち、本殿や拝殿などの諸殿舎と、初詣時に玄関口となる朱い勾欄の駐春橋を祓い清める。

冬

主な年間祭事と 花ごよみ

一月

歳旦祭
左義長 射水の火祭り

二月

節分祭
祈年祭

三月

御神木の紅梅と白梅

四月

例祭
古城公園の桜

五月

青楓若葉の結葉

六月

鎮火祭
夏越の大祓・
人形感謝清祓式
紫陽花

九月

秋季大祭
萩

十月

神嘗奉祝祭

十一月

新嘗祭
大楓の紅葉

十二月

冬至祭
煤祓祭
大祓